

病虫害発生予察地区報第4号

— 地区注意報 —

病虫害名 りんごのキンモンホソガ

1 情報の内容

りんごのキンモンホソガの発生が一部地域で多く、今後寄生が多くなると早期落葉する恐れがある。7月上旬に雨が多く、防除タイミングが第2世代の防除適期に合わなかった場合は、第3世代以降増加する可能性がある。

2 対象地域

主に北信地域のりんご園

3 根拠

- (1) 果樹試験場内および中野市のフェロモントラップ調査では、キンモンホソガ成虫の誘殺数が平年に比べ多く、特に中野市で第2世代成虫の発生が多くなっている(図1、2)。
- (2) 7月下旬の巡回調査において、北信地域16地点のうち10地点で、幼虫の寄生葉率が平年より高かった(表1)。

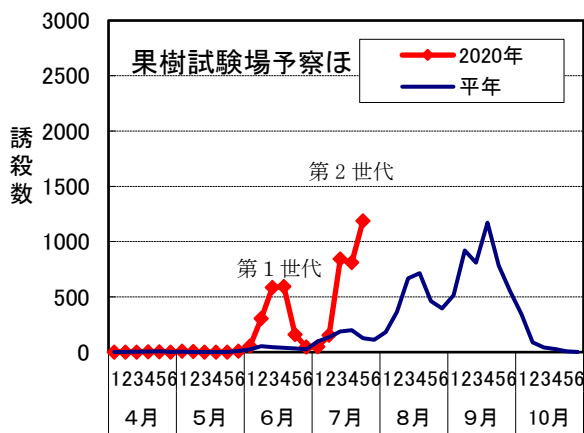


図1 キンモンホソガの発生消長(須坂市)

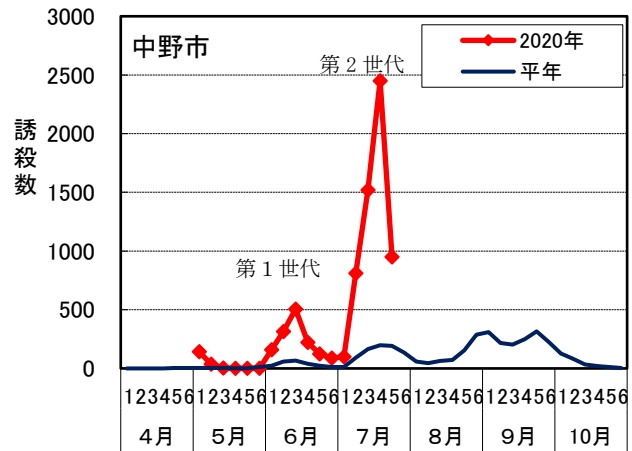


図2 キンモンホソガの発生消長
(中野市：北信農業農村支援センター調査)

表1 7月下旬の巡回調査におけるキンモンホソガの寄生葉率調査(%)

(病虫害防除所調査 北信地域一部抜粋)

	長野市 篠ノ井 小松原	長野市 篠ノ井 岡田	長野市 篠ノ井 布施五明	長野市 若穂	須坂市 野辺	須坂市 日滝	小布施町 都住	高山村 高井	飯綱町 赤塩	中野市 越
本年	2.4	0.4	0.7	0.9	2.2	2.4	1.5	3.2	0.1	6.5
平年	0.2	0	0.1	0.2	1.4	2.3	0.4	0.8	0	1.1

平年は過去10年間の平均値



図3 キンモンホソガの成虫



図4 キンモンホソガの寄生葉

4 生態及び防除対策と留意点

- (1) 幼虫が葉の中に食入し葉肉を食べる。長野県の平地では年5回発生するが、標高の高い地域では4回発生になる。落葉の中で蛹で越冬する。越冬世代成虫は早ければ3月下旬から出現するが、最盛期は4月中旬である。第1世代成虫は6月上中旬、第2世代成虫は7月上中旬、第3世代成虫は8月上旬～下旬、第4世代成虫は9月以降に発生する。第1、2世代の発生量が多いと、第3世代以降は急増する。
- (2) 寄生葉は、食入が進むと葉表からも点状の食痕がみえ、この部分は紡錘状にやや盛り上がる(図3、4)。寄生数が1葉あたり3～4頭程度なら直ちに落葉することはないが、秋になると早期に落葉する。
- (3) 第3世代が発生する8月上旬が重要な防除時期である。防除のポイントは、幼虫の食入防止で、合成ピレスロイド剤、IGR剤、ネオニコチノイド剤、ジアミド剤、その他コテツ、ディアナWDGは、食入防止効果が高い。
- (4) 北信地域以外でも場所によっては発生が多くなっているりんご園がある。7月の降雨により第2世代に対する防除タイミングがずれた園では、8月は防除タイミングをのがさないよう発生消長をよく確認し防除する。

長野県病害虫防除所
塩川正則(所長) 小林富雄(担当)
電話: 026-248-6471
FAX: 026-248-6473
E-メール: bojo@pref.nagano.lg.jp